

平成 30 年度
学校関係者評価報告書

令和元年 6 月

学校法人東北文化学園大学

東北文化学園専門学校

平成 30 年度学校関係者評価について

平成 30 年度の東北文化学園専門学校自己点検・自己評価の結果に基づいて、学校関係者評価委員会を開催し、各委員の意見を取り纏めましたので、その結果を公表いたします。

平成 30 年度の自己点検・自己評価報告は、昨年度に比し「評価 4」の項目が増えたことについて、教職員の皆様が学校関係者委員会の意見を真摯に受け止め、日々改善に取り組まれた結果であり、基準 1 から基準 10 の自己評価報告について、取り組み状況や課題の改善方策も含め適切であると評価いたしました。

各委員共通の意見として、入学定員の充足に向けた更なる取り組みが急務であり、学生募集を司る部署との連携を密にし、一人でも多くの入学者の確保をお願いするものです。18 歳人口が急激に減少する中で高校生の大学志向等、専門学校を取り巻く環境は厳しいものがありますが、私共にできることがあれば協力を惜しみません。学生を中心軸に置き、より良い学校づくり、更なる教育の質の向上に邁進されることを期待いたします。

令和元年 6 月 学校関係者評価委員会
委員長 中里 仁

1. 学校関係者評価委員会開催

開催日：令和元年 6 月 20 日

場 所：東北文化学園専門学校 2 号館 第 1 会議室

※ 平成 30 年度自己点検・自己評価報告書について事前配布済み

2. 学校関係者評価委員

【外部委員】 平成 30 年度

栗原 憲昭	宮城県建築士事務所協会名誉会長 (盛総合設計 代表取締役)
熊坂 雅之	宮城県診療情報管理研究会幹事 (仙台赤十字病院 事務部長)
中里 仁	特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター理事 (社会福祉法人東北福社会 せんだんの館 総合施設長)
郡山 知之	東北大学アイバンク理事 (株)日本眼科医療センター 代表取締役)
立石 浩一	東北文化学園専門学校同窓会 会長

オブザーバー：【自己点検及び自己評価運営委員会】

委員長	佐藤 直由	校長
副委員長	熊谷 猛	教頭兼医療ビジネス学科長
委員	二本柳 淳子	医療技術学科長(教員)
	渡辺 英隆	総合福祉学科長兼教務委員会主事(教員)
	宇川 雅晴	学生委員会主事(教員)
	増田 学身	建築デザイン学科長兼企画広報委員会主事(教員)
	津田 真彦	キャリア対策委員会主事(教員)
	松永 哲夫	専門学校事務局次長

3. 対象期間

平成 30 年度

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

4. 実施方法

- (1) 東北文化学園専門学校の「自己点検および自己評価運営委員会」が作成した、「平成 30 年度自己点検・自己評価報告書」について、5 月中に学校関係者評価委員全員に事前配布し、委員個人の意見の取りまとめをお願いいたしました。
- (2) 委員会において、各自持ち寄った意見の確認を行い、必要に応じて自己点検・自己評価をまとめたオブザーバーに対して、状況説明や補足を求めながら意見集約を行い、それぞれの基準について、改善方策も含め適切であったか評価を行いました。
- (3) 基準 1～10 までの各委員の意見については、全て公開することとしております。

平成 30 年度学校関係者評価一覧

1. 自己点検・自己評価の項目

平成 30 年度は以下の基準 1～基準 10 になります。

- 基準(1) 教育理念・目的・育成人材像
- 基準(2) 学校運営
- 基準(3) 教育活動
- 基準(4) 学修成果
- 基準(5) 学生支援
- 基準(6) 教育環境
- 基準(7) 学生の募集と受け入れ
- 基準(8) 財 務
- 基準(9) 法令等の遵守
- 基準(10) 社会貢献・地域貢献

2. 評価項目に対する評価

評価は、1～4 の点数で記載しております。

4：適切 3：やや適切 2：やや不適切 1：不適切

基準 1 教育理念・目的・育成人材像		
1-1	理念・目的・育成人材像	
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	4
1-1-2	育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4
1-1-3	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4
1-1-4	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4

学校関係者評価一適切

- 総括と課題に挙げられた、「常に最新の知見」を取り入れた教育力の向上は増々重要となってくるものと思われます。
- 「実社会に対応」するキャリアパスの構築、「職業実践力」育成こそが専門学校の特性にもつながりますので、今後に期待しております。
- 保護者の方々に対し、御校の教育理念・目的・育成人材像についてご理解いただくことが重要です。保護者懇談会等の更なる強化に期待しております。
- 実際の現場の状況をスピーディーにアップデートするために、学外の非常勤講師との交流、情報交換をもっと盛んに行った方が良いのではないのでしょうか。

基準 2 学校運営		
2-2	運営方針	
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	4
2-3	事業計画	
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	4
2-4	運営組織	
2-4-1	設置法人は組織運営を適切に行っているか	4
2-4-2	学校運営のための組織を整備しているか	4
2-5	人事・給与制度	
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	4
2-6	意思決定システム	
2-6-1	意思決定システムを整備しているか	4
2-7	情報システム	
2-7-1	情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3

学校関係者評価一適切

- 教育理念を踏まえた、「教育目標の具現化」こそが特色ある学校運営の胆になると考えております。
- 全国の教育機関においては、今後益々学校経営そのものが更に厳しい状況になってきますので、教育目標の具現化に必要な教職員の質の担保と情報の共有の強化に期待しております。
- 働き方改革を踏まえ、社会問題にもなっている教職員の負担軽減を実施していくことが求められており、そのためには十分な常勤職員（一部非常勤職員の活用も含め）の確保が重要な課題となってくると思います。

基準 3 教育活動		
3-8	目標の設定	
3-8-1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方法を定めているか	4
3-8-2	学科毎に修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	4
3-9	教育方法・評価等	
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4
3-9-2	教育課程について外部の意見を反映しているか	4
3-9-3	キャリア教育を実施しているか	4
3-9-4	授業評価を実施しているか	4
3-10	成績評価・単位認定等	
3-10-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4
3-10-2	作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4
3-11	資格・免許の取得の指導体制	
3-11-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4

3-11-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	4
3-12	教員・教員組織	
3-12-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4
3-12-2	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4
3-12-3	教員の組織体制を整備しているか	4

学校関係者評価一適切

- 総括と課題に挙げられた、「教員体制については、関連分野における業界等の有識者と連携を図り、業界等に精通した教員を採用する等、教育の質の確保に努める」ことは、最新の知見を取り入れた教育力の充実に繋がると考えます。
- 達成レベルに満たない学生に対するきめ細やかなフォローアップは大変ですが、各教育機関においても共通かつ重要な課題だと考えます。フォローアップ体制の更なる強化に期待しております。
- 現在の医療現場（企業等においても）では、学習能力のみならず、マネジメント能力、統計、分析能力等がある人材が求められています。卒業してすぐには難しいことですが、そのような分野を意識したカリキュラムも必要だと感じます。
- 医療ビジネス学科においては、診療報酬点数解釈の知識は当然ながら必要なことではあるが、2018年には「施設基準管理士」の資格も新設され2019年には初の認定者が誕生しています。医療機関では施設基準に対する知識を持った人材が求められています。授業でも行われていると思いますが、少し力を入れても良いかと思えます。

基準 4 学修成果		
4-13	就職率	
4-13-1	就職率の向上が図られているか	4
4-14	資格・免許の取得率	
4-14-1	資格・免許取得率の向上が図られているか	4
4-15	卒業生の社会的評価	
4-15-1	卒業生の社会的評価を把握しているか	3

学校関係者評価一適切

- 総括と課題に挙げられた、「豊かな人間性を備え、社会に貢献できる人材の育成」が、今後の社会が求める人材ではないかと考えております。
- 一方、資格取得も重要でありバランスの取れた学修成果を期待しております。
- 資格を取得するということは、卒後の社会生活においても大変自信に繋がるものだと思います。資格取得（取得率アップ）に向けた教職員の更なるサポートを期待します。

基準 5 学生支援		
5-16	就職等進路	
5-16-1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4
5-17	中途退学への対応	
5-17-1	退学率の低減が図られているか	4
5-18	学生相談	
5-18-1	学生相談に関する体制を整備しているか	4
5-18-2	留学生に対する相談体制を整備しているか	非該当
5-19	学生生活	
5-19-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4
5-19-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4
5-19-3	学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	4
5-19-4	課外活動に対する支援体制を整備しているか	4
5-20	保護者との連携	
5-20-1	保護者との連携体制を構築しているか	4
5-21	卒業生・社会人	
5-21-1	卒業生への支援体制を整備しているか	4
5-21-2	産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	3
5-21-3	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4

学校関係者評価—適切

- ・ 課題と総括に挙げられた、「学生に対するきめ細やかな支援の現状」について高く評価致しております。
- ・ 厳しい環境にある学生に対する、「現状の経済的支援」を高く評価しております。
- ・ 学生への進路や、個別の相談等、支援体制が十分に取られていると思います。日本の社会も益々国際化が進むと思われることから、今後、留学生の受け入れについても検討していくことも必要かと思えます。
- ・ 東北文化学園専門学校のホームページは、色合いもよく綺麗で見やすい作りになっていると思います。YouTube へのリンク等工夫されていてとても良いと思います。

基準 6 教育環境		
6-22	施設・設備等	
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3
6-23	学外実習、インターンシップ等	
6-23-1	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	3
6-24	防災・安全管理	
6-24-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	4
6-24-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3

学校関係者評価—概ね適切

- ソフト、ハードの教育環境の充実度により、「学校を選ぶ」傾向が強くなっていることも事実です。同一敷地内にある姉妹大学との更なる連携・共有化による効果的な教育環境づくりに期待しております。
- 施設、設備等は基準に沿って備えられているようです。老朽化に伴う改築、改修、更新等の計画的な取り組みが期待されます。
- 教育課程編成委員会において、パソコン設備の更新が予定されていると聞きましたが、アプリケーションについても、現在使用しているソフトが専門的に見て業界にマッチしているか、教育課程編成委員会と連携し常に点検し見直しを行っていく必要を感じています。
- 教育課程編成委員会の中で、インテリア科学生数の増加に伴い、教材の補充が間に合わないとの実情を聞きました。備品の充実も大切ですが、消耗品への配慮も行って頂きたいと思います。

基準 7 学生の募集と受け入れ		
7-25	学生募集活動	
7-25-1	高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4
7-25-2	学生募集を適切、かつ、効果的に行っているか	4
7-26	入学選考	
7-26-1	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4
7-26-2	入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	4
7-27	学納金	
7-27-1	経費内容に対応し、学納金を算定しているか	4
7-27-2	入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取り扱いを行っているか	4

学校関係者評価—適切

- 少子化、人口減少の大波のなかにあり、学生募集と受け入れが学校経営の胆になってきます。東北6県への（場合によっては特化した）更なる新規学卒者の募集に力を注ぐことが重要ではないかと考えます。
- 「高等教育段階の教育費負担軽減制度」の申請と取得が急務であると考えます。
- 少子化が進む中、大学の数も飽和状態で男女共学化も進み、生徒獲得に苦労していると思います。奨学金又は新しい制度の活用等、また、地道に学校説明会を行うなど、様々な工夫が必要だと思います。
- まず学生を集めない事には選考ができません。『視能訓練士』の知名度を上げることが重要ですが、その次にはオープンキャンパスに来てもらうことが必要です。奨学金制度や貴校入学のメリットなどを大きく打ち出すことも大切だと思います。
- OG・OBの数も多いと聞いています。単なる自己推薦ではなく、その科の同窓生の推薦なども考えてはいかがでしょうか。東京六大学などでは行われているようですが、同窓生の親戚、知り合い、高校の後輩、などで同じ道を志す場合、推薦文をいただいての応募となると自ずとモチベーションも上がるのではないかと考えられます。
- 同窓生への現状の報告、学校 PR は欠かせないものと考えます。同窓生への広報の充実、逆に同

窓生の活躍をアピールして在校生の意欲向上を促すことが必要に思います。

- 学校、高校における募集活動についてはしっかりと行われており、体制は整っていると考えます。しかし、特に視能訓練士科においては、『視能訓練士』そのものの知名度が低く、学校を知っていても視能訓練士を選択肢として選ばないことが多いと考えられます。病院はもちろんもっと多くの人が目にする場所にパンフレットやポスターを設置し、職業理解に繋げる必要があるのではないのでしょうか。
- 臨床工学技士における『元気祭り』のようなイベント、人が多く集まるイベント等で視能訓練士をアピールするのも一案かと思えます。

基準 8 財務		
8-28	財務基盤	
8-28-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3
8-28-2	学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	4
8-29	予算収支計画	
8-29-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	4
8-29-2	予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4
8-30	監査	
8-30-1	私立学校法及び寄付行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31	財務情報の公開	
8-31-1	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4

学校関係者評価—適切

- 経営幹部だけでなく、「教職員全員が経営意識を持つことが生き残りの鍵」ではないかと痛感しております。僭越ながら更なる周知徹底が必要かと考えます。
- 他の法人においても難しい現実がありますが、「専門学校と大学」法人全体としての学生募集戦略が不可欠だと考えます。
- 財務基盤の安定化は学校教育にとっても非常に大切なものです。安定した学生確保に努力してください。

基準 9 法令等の遵守		
9-32	関係法令、設置基準等の遵守	
9-32-1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4
9-33	個人情報保護	
9-33-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	4
9-34	学校評価	
9-34-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	4
9-34-2	自己評価結果を公表しているか	4
9-34-3	学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	4

9-34-4	学校関係者評価を公表しているか	4
9-35	教育情報の公開	
9-35-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	4

学校関係者評価—適切

- 適切に法令遵守がなされております。
- ハラスメントの防止、相談等、また、研修・教育においても仕組みが構築されており、適切に行われているようです。定期的にチェックが行われることを望みます。

基準 10 社会貢献・地域貢献		
10-36	社会貢献・地域貢献	
10-36-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
10-36-2	国際交流に取り組んでいるか	3
10-37	ボランティア活動	
10-37-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	4

学校関係者評価—適切

- 周辺大学では、地域貢献に力を注ぎ「公認ボランティアサークル」が地域町内会・連合町内会と恒常的に活動を行っております。御校の学生ボランティアの評価は高いものが有りますので、恒常的に地域貢献が行えるボランティアサークル等の設立を期待しております。
- 教職員と学生が一緒になって行う清掃ボランティア、地域貢献等、高く評価できます。学生の減少でボランティアの要請に応需できないことが増えていることが少し気になります。